

第43回 愛媛県養護教員研究大会

11月22日(火)、第43回愛媛県養護教員研究大会を開催いたしました。県下より約110名の養護教諭が会場に参集するとともに、オンラインで各校から同時配信を視聴しながら参加するというハイブリット方式の大会となりました。

研究主題 「共に生き、命を大切にする健康教育」
～生涯にわたり、心身ともに健康なライフスタイルを確立するための支援の在り方～

研究発表・研究協議



自他の安全や命を守るために
主体的に行動できる児童の育成
～保健教育における養護教諭の専門性を
生かしたタブレット端末の活用を通して～
松山市立小野小学校
渡部 裕美先生

指導助言



研究発表・研究協議のあと、愛媛県教育委員会保健体育課指導主事 泉志保先生より指導助言をいただきました。その後、愛媛県フッ化物洗口普及事業等のお知らせがありました。

「性的自己決定能力」を育む性教育の推進
～「こころまじわうプロジェクト」の
取組を通して～
宇和島市立城北中学校
岡田 久美先生



基調報告



愛教研養護教員部長より、基調報告と健康教育夏季研究会の開催方法の見直しについて提案がありました。

講演

演題

「楽しく体験！ そうだったのか！ からだの不思議」

講師 文京学院大学 保健医療技術学部

教授 樋口 桂先生

「鼻はなんで2つある？」「耳に指をいれたらゴーンと聞こえるのは、何の音？」といった楽しいクイズを交えながら、ご講演いただきました。自分の体を題材にした「なぜ？」をきっかけに、自分で調べて考えていく探究活動、健康教育を進めるヒントをたくさん学ぶことができました。

